

令和5年度山形県生活習慣病検診等管理指導協議会
肺がん部会議事録

日時:令和6年2月13日(火) 15:30～

場所:県庁 701 会議室

オンライン開催(zoom)

《 次 第 》

- 1 開 会(進行:県がん対策・健康長寿日本一推進課 前田課長補佐)
- 2 あいさつ(県健康福祉部 阿彦医療統括監)
- 3 協 議
 - (1)令和4年度肺がん検診及び結核検診の実施状況について
 - (2)令和4年度呼吸器検診(肺がん検診・結核検診)発見肺がん症例の患者調査票確認結果について
 - (3)令和5年度がん検診精度管理調査結果について
 - (4)その他

井上議長

コロナ禍が明けたとはいっても、まだ第 10 波の中であると思いますし、過去のデータを見ますと、令和4年度の実績では早期がんで発見される人の割合が減って、進行がんで見つかる人が増えているというのは、コロナに入って検診を受けない人が増えて、そういったことが起きるのではないかと危惧されたことが本当に起こっている事態になってしまっているので、検診の重要性というのを改めて認識していく必要があるのではと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(1)令和4年度肺がん検診及び結核検診の実施状況について

事務局説明概要

▶資料1

・受診率は、令和3年度並み、令和元年度と同率。受診者数は70代後半が増加傾向。精検受診率は、85.3%、令和3年度並み。

▶資料2

- ・住民検診の市町村別、精密検査受診率許容値(70%)以下の市町村は、戸沢村。
- ・最上地域の要精検率 3.8%。特に金山町が高く 6.9%だが、診療所へ判定基準を示し指導を実施し、令和5年度は減少見込み。
- ・住民検診(40歳以上)の陽性反応適中度 2.73、がん発見率 0.04 と大きな変化なし
- ・職域検診の県内 6 検診機関の肺がんエックス線検査受診者、増加。精検受診率 74.3%(前年比-0.7)
- ・職域検診(40歳以上)の要精検率 1.1、陽性反応適中度 1.18、がん発見率 0.01

▶資料3

- ・結核健診は村山地域 7 市町で実施。4名のがん確診者があった。
- ・受診率は、最上地域、庄内地域が高い傾向。精検受診率は、置賜地域が低下。

(2)令和4年度呼吸器検診(肺がん検診・結核検診)発見肺がん症例の患者調査票確認結果について

事務局説明概要

▶資料4

・令和4年度の住民検診で肺がんまたは肺がん疑いの症 174 例の追跡調査の結果、早期がんの割合 48.0%(前年度 66.3%)

井上議長

資料(1)から(4)まで説明いただきましたがご質問ございますでしょうか。
戸沢村の受診勧奨が行われなかった件は解決されたのでしょうか。人員不足ということですが。

事務局

人員不足の解決は厳しい。

井上議長

このまま、行かざるを得ないという状況になっているのでしょうか。
他にございますでしょうか。

井上議長

早期がんの発見率が、去年度かなり下がっていると思うのですが、令和2年度については、後で教えていただくとして、他にございますでしょうか。

阿彦統括監

金山町の令和4年度の要精検率が 6.9%ということで、最上が元々高いのに、それに加えて、あまりにも高かったので、通常比較読影をすれば 3.0%を超えるということは経験的にないとおもったので確認したところ、最上の検診センター以外でも町立の診療所でも一部検診を請け負っているということで、その比較読影が十分に行われていなかったということだと思わんですが、令和5年度は改善しているということでした。

井上議長

その点は理解しました。戸沢村の人手不足で受診勧奨ができなかった点についてと、全体で早期がんの発見割合が、今回随分低かったことについてです。進行がんの状態で見られる割合が増えたのは、やっぱりコロナの影響かなというのを感じていたんですけど。

阿彦統括監

そうですね、他のがんでも言われているので。

井上議長

コロナが始まった当初にも、そういう論文が散見されていたので、危惧されていた通りになってしまっているのかなど。前回は発言したんですが、そういう件について県から健康診断の受診控えというのは危険であるという、何か発信されているのでしょうか。

音山課長

会長の方からありました、コロナ禍において令和2年度が顕著だったわけですが、厚労省から通達があって当初控えたということがありました。その後、厚労省の方からの通知で、受診勧奨というということで、県としても受診勧奨の取り組みをしていますが、今ありました具体的にという点で、もしかしたら今後、課題があるのかなど、戸沢村さんのケースのようなところで、具体的などころで検討してフォローができるということについては、まだまだできるなどころはあるのかなど、今話を聞いて感じているところです。

井上議長

問題点が別々な気がするんですが、戸沢村の受診勧奨というか受診していないわけですから、検診で拾い上げたというのと、また全然別の問題だと思うんです。

お時間もありますので、あとで教えてください。

(3) 令和5年度がん検診精度管理調査結果について

事務局説明概要

▶資料5

- ・市町村チェックリスト結果、

井上議長

ただいまの説明につきまして、何かご質問あるでしょうか。

先程、いくつかの市町村で、ほんとは A だったのって、質問が難しいんですか。間違えちゃうような質問なんですか。

事務局

そんなに難しい項目ではないんですけども。

井上議長

二つの市町村の事務のプロの人が回答を間違えちゃうことが、ややこしい質問なのかと思って心配しちゃったんですけど、そういう訳ではないんですか。

事務局

そういう訳ではないです。

井上議長

検診機関の項目数というのが、32 ページのところ肺がんだけ 40 というのが、他と比べて倍近く多いんですね。肺がんの分野はえらく細かいんですか。

事務局

36 ページ以降の質問に答える形になっております。他の分野より多いです。

井上議長

事務にとってはそんなに負担にはならないですかね。国で決めてることだからしょうがないですね。

事務局

検診機関さんそのあたりどうでしょうか。

井上議長

わかったら、教えてください。

40 ページ以降の実施状況調査書の内容は補足資料ということでしょうか。

事務局

補足資料になります。

(4) その他

井上議長

その他として協議すべき事項がありましたら、ご提示いただきたい。皆さん、いかがでしょうか。

(その他なし)

以上